

むつ都市計画市場の変更（むつ市決定） 理由書 原案

大畑地区は、下北半島北辺に位置し、優れた漁場である津軽海峡に面していることから、全国有数の水揚げを誇るスルメイカ漁を中心とした水産業が地域の経済を支えてきました。また、下北地方唯一の第三種漁港である大畑漁港及び大畑町魚市場が地域の水産物集出荷拠点的形成し、青森県水産業の一翼を担ってきところでもあります。

しかしながら、昭和50年代の初めには60億円台を記録していた取扱高は、現在は10億円程度にまで減少しています。

これは、漁獲量の減少や魚価の低迷、燃油の高騰、後継者不足などの影響のほか、施設本体の老朽化による機能低下が要因のひとつとなっています。

このような中、むつ市長期総合計画後期基本計画（平成24年度～平成28年度）では、流通拠点施設の整備により機能の充実を図り、安全・安心な農林水産物の供給体制の整備に努めるとしているほか、第9次青森県卸売市場整備計画においても大畑町魚市場は地域拠点型魚市場を目指すこととしています。

このことから、本都市施設である市場を追加することにより、鮮度管理や陸揚機能の強化が可能な施設を整備し地域経済の活性化を図り、都市の健全な発展を進めるものであります。